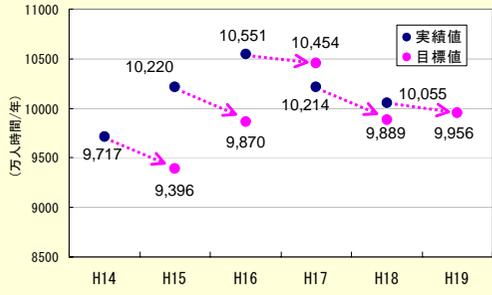


2-1

渋滞をへらす『渋滞損失時間』

平成18年度達成状況の報告
平成19年度業績計画

安全で快適な走行環境 安全で快適な歩行環境 地域間および港湾・空港との連携

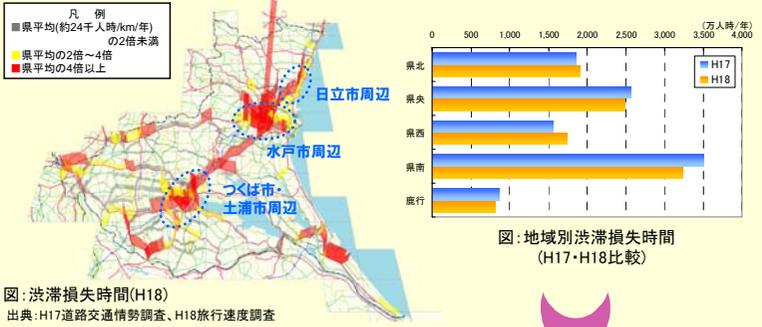


● 指標の算出対象道路：国道、県道
● 指標の算出方法：
渋滞損失時間
= (実際の所要時間 - 交通渋滞がない場合の所要時間) × 交通量 × 平均乗車人数

評価 平成18年度の達成状況

| | |
|--------|-----------------------------|
| 目標値H18 | 325 万人時間/年削減 (9,889 万人時間/年) |
| 実績値H18 | 10,055 万人時間/年 |
| 達成状況 | 目標の5割達成 |

● 平成18年度は159万人時間/年(1.16%)の減少となり、昨年にひきつづき渋滞損失時間が改善し、目標の5割を達成しました。県南地域での減少が目立ちます。
● しかし、水戸市をはじめとする代表的な都市部周辺では、あいかわらず渋滞が集中しています。



計画 平成18年度成果目標

- 一般国道をはじめとする幹線道路のバイパス整備や4車線拡幅を推進します。
- 325万人時間/年の渋滞損失時間削減を目指します。

| | |
|--------|-----------------------------|
| 実績値H17 | 10,214 万人時間/年 |
| 目標値H18 | 325 万人時間/年削減 (9,889 万人時間/年) |

実施 平成18年度の取り組み

■ 幹線道路のバイパス整備等に取り組みました

事例①【一般国道355号 笠間バイパス】

- ・旧笠間市街地における幅員狭小区間を解消
- ・交通分散により交通渋滞を緩和



事例②【都市計画道路 守谷伊奈谷和原線「都市軸道路」(4車線化)】

- ・守谷市内天神交差点から松並地区までの朝の移動時間が半分以下に短縮
- ・安全で快適な歩行空間を確保



混雑箇所は、依然として存在
渋滞緩和に向け、現在進めている事業の継続に加え、更なる取り組みを実施していきます。

反映

計画 平成19年度成果目標

■ 平成19年度の目標

| | |
|--------|----------------------------|
| 実績値H18 | 10,055 万人時間/年 |
| 目標値H19 | 99 万人時間/年削減 (9,956 万人時間/年) |

平成19年度は下記をはじめとする道路施策・事業により、平成18年度の10,055万人時間/年から、99万人時間/年(1.0%)の削減を目指します。

■ 平成19年度の渋滞損失時間削減に寄与する主な道路施策・事業

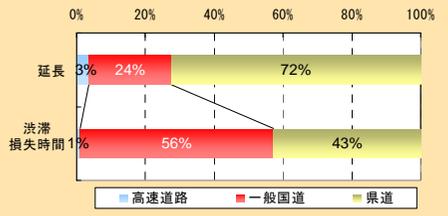
- 「現在進めている事業の継続」
 - 一般国道6号日立バイパス (L=1.6km)
 - 一般県道 紅葉石岡線 (L=2.8km)
 - 北関東自動車道 友部IC～笠間西IC (L=9.1km) 等
 - 渋滞見える化プラン
「道路見える化計画」の一環として、みなさまの意見を踏まえ抽出した29箇所を重点対策。
- 水戸都市圏渋滞対策プロジェクト委員会
水戸都市圏の渋滞解消に向けて、ハード・ソフト両面から渋滞対策を検討。

●「更なる取り組み」

- 2地区において高速道路料金割引社会実験を実施
- 日立地区常磐道社会実験【継続(1年ぶり)】
- 東水戸道路社会実験【新規】

現状と課題 渋滞が集中する一般国道の交通円滑化が課題

- 道路延長(県道以上)が約1/4である一般国道に、渋滞損失時間の半分強が集中しています。(占有率約2.3倍)。
- 渋滞は、水戸市、土浦市・つくば市、日立市周辺といった都市圏で顕著に発生しています。



図：道路種類別延長と渋滞損失時間
出典：H17道路交通情勢調査、H18旅行速度調査